



生徒総会講評

本来ならば、全校のみなさんが体育館に集まって、行われるべき生徒総会が、放送で行わざるを得ないことを残念に思います。しかし、各委員会、委員長さんを中心に考えた活動内容を各学級で学級討議をし、その中で出された質疑に対して丁寧に説明をし、本年度の方向性が決まりました。

生徒会の主役は、みなさん一人一人です。みなさんが、各委員会の活動のねらいや意義を理解した上で、今後の活動を大いに盛り上げていてほしいと思います。

榛中生徒会には5つの誇りがあります。以前、始業式でも話をしましたが、この5つの誇りにはすべてに『心』という文字がついていて、とってもいいですね。

学校が始まって1か月以上がたちましたが、挨拶・服装・時間・清掃・合唱の5つの誇りは『心』のこもった誇りになっているのでしょうか？

私からみなさんに強くお願いしたいことは、この「心」のついた5つの誇りを榛中生全員で本物の誇りにしてほしいということです。

ではどんな行動が本物の誇りになるのでしょうか？

私は毎朝みなさんが登校してくる様子を見ながら、あいさつをしていますので、挨拶について感じていることを話してみます。みなさんのあいさつは実に様々です。元気な声で挨拶する人・一度立ち止まって、会釈をしながら挨拶をする人・笑顔で爽やかな挨拶をする人・ちょっと元気が無いけれど、必ず挨拶を返してくれる人、ほとんどの榛中生は、心つながる挨拶が身に付いています。でも、中には、こちらから挨拶をしても無表情で通り過ぎる人もいます。ちょっと残念です。

やっぱりにっこりした笑顔で挨拶がされると実に気持ちがいいものです。こうした笑顔とセットの挨拶が校内はもちろん、地域でも榛中生全員が自然に行えてこそ、本物の誇りとなるのではないのでしょうか。

他の4つの誇りについても、本物の誇りとはどういう姿なのか。ぜひ全員で真剣にめざす姿を考え、その姿に近づけると良いですね。

各委員会が中心となり、本物の誇りづくりに向けて取り組むことで、明日からの日常生活がさらによりよいものになっていくことを期待して、総会の講評とします。

今日は、ご苦労様でした。